

2020年度先生のための気象教育セミナー実施報告

教育と普及委員会

教育と普及委員会では、活動目標の一つである「学校教育における気象学・大気科学の充実促進」を図るため、気象が専門ではないが、教えなくてはならない先生方の悩みに応えることを目的とした気象教育懇談会を2016年度より実施している。

2020年度は、「防災」をテーマに港区立みなと科学館を会場として行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための非常事態宣言が発令されたため、オンラインに切り替えて実施した。会場実施としては16名の参加希望があったが、オンラインに切り替えたことで追加募集を行い、希望者は合計32名となった。

1. 概要

開催日時及び場所

2021年1月10日（日）13：30～16：10

オンライン（Zoom）による実施

内容

- (1) ナダレンジャーの防災教室
講師：ナダレンジャー・ナダレンコ（防災科学技術研究所）
- (2) キャスターと学ぶタイムライン
講師：岩谷忠幸
- (3) キャスターと学ぶ、防災の伝え方
講師：南 利幸

参加者

中学校・高等学校教員他

2. 実施状況

例年、30名ほどの参加者があるが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、定員を通常の1/2である18名とし、過去の参加者と港区内の公立学校に限り募集を行ったところ、16名の参加希望があった。オンラインに切り替えたことで追加募集を行ったところ、更に16名の希望があった。

平松委員長の開催挨拶の後、防災科学技術研究所のナダレンジャーこと納口研究員、ナダレンコこと罇研究員による「ナダレンジャーの防災教室」が実施された。会場実施では身近な材料を用いての教材作成実習を予定していたが、オンラインで60分の講義とした（第1図）。画面越しではあったが、身近な材料を使っての様々な防災教育教材をご紹介いただき、画面に引きずり込まれるような60分となった（第2図）。

続いて岩谷委員による「キャスターと学ぶタイムライン」の講義があった。これは一般市民向けのプログラムを生徒向けにアレンジしたものである。タイムラインを作成しやすく工夫されたシートの紹介と作成方法が、実際に授業等で活用できるよう紹介された。

さらに南委員による「キャスターと学ぶ、防災の伝え方」の講義が行われた。気象警報が発表された場合



第1図 みなと科学館での配信。



第2図 熱のこもった講義の様子。

の対応について、保護者の立場で混乱する例をあげ、それに対する情報の求め方や対応について紹介された。参加者からも、休校にする際の規定について紹介があった。

3. 成果など

受講者に行ったアンケートの結果から、どの講義も興味深いとの回答を得た。

今回はテーマとして防災を取り上げたが、理科のみならず他教科の教員にも関わるものであり、正しい知

識や新しい手法を身につける良い機会となったようである。オンラインに切り替えたことで遠方からの参加者も多く、オンラインであればぜひ今後も参加したいという回答が非常に多かった。内容の希望としては、「簡単な教材作成」が最も多く、次いで「防災」となっており、今後も引き続き同じようなテーマで異なる切り口のセミナーを検討したい。

最後に、オンライン配信会場としてご協力いただいた港区立みなと科学館に感謝申し上げます。